

じっくり絵心教室

1

しょう まえ
ご使用になる前に

じゅんび
準備する

2

インターネットでできること

3

ほごしゃ かた
保護者の方へ

はじめに

4

メインメニュー

5

きほん そうさ
基本操作

6

ほぞん しょうきょ
データの保存と消去

え か
絵を描く

7

レッスン

8

フリーペイント

え み きょうゆう
絵を見る・共有する

9

どうが
動画

10

ミーバース
Miiverse

11

さくひんしゅう
作品集

12 | ギャラリー

せいひん
この製品について


13 | けんりひょうき
権利表記など

こま
困ったときは

14 | とあさき
お問い合わせ先

この電子説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

あんぜん しよ ご安全に使用するために

Wii Uメニューの  (安全に使用するために) は、ご使用になる前に必ずお読みください。ここでは、お客様の健康と安全のための大切な内容が書かれています。ご使用になる方が小さなお子様の場合は、保護者の方がよく読んでご説明ください。

インターネットに接続すると、次のことがお楽しみいただけます。

投稿する

描いた絵や、描いている過程をおさめたメイキング動画を投稿できます。



※ 絵はMiiverse、動画はYouTubeに投稿します。

みんなの絵や動画を見る

全世界のみんなが投稿した絵や動画を見たり、コメントして交流したりできます。絵を保存して、描くときの参考画像にすることもできます。




※ 絵はMiiverse、動画はYouTubeから見ることができます。

※ インターネットに接続して、あらかじめMiiverseの設定を行う必要があります。

※ インターネット接続については、Wii U取扱説明書（冊子）の「インターネット設定」の項目をご覧ください。

※ Miiverseについては、Wii U電子説明書の「Miiverse」の項目をご覧ください。Wii U電子説明書は、Wii Uメニューで \odot を押し、HOMEメニューボタンで $?$ （説明書）を選ぶと表示されます。

ここはおとなのひとに みてもらってください

お子様の使用を制限したい場合は、Wii Uメニューの  (保護者による使用制限) で、制限したい項目を選んでください。このソフトでは、以下の内容を制限できます。

<small>こうもくめい</small> 項目名	<small>せいげんないよう</small> 制限内容
ゲームソフト <small>つうしん きのう</small> の通信機能	<small>ミーバース</small> Miiverseなど、すべての機能 <small>きのう せいげん</small> を制限できます。
<small>ミーバース</small> Miiverseの <small>しょう</small> 使用	<ul style="list-style-type: none"> ●「<small>とうこう せいげん</small>投稿のみ制限する」 <small>ミーバース とうこう とうこう たい</small> Miiverseへの投稿や、投稿に対して <small>ひょうか せいげん</small> 評価することを制限できます。 ●「<small>とうこう えつらん せいげん</small>投稿・閲覧を制限する」 <small>とうこう ひょうか え ひょうじ ミーバース</small> 投稿や評価、絵の表示など、Miiverse <small>かんれん きのう せいげん</small> に関連するすべての機能を制限できます。

アイコン→「^{けってい}決定」の^{じゆん}順に
タッチすると、各モードに進
みます。




※ ^{えら}選べるレッスンなどが^ふ増えたときは、 ^{ひょうじ}が表示されます。

 レッスン	<p>^{せんせい}ピンス先生の^{こうぎ}講義を受けなが ^ら描きます。  7</p>
 フリーペイント	<p>^す好きな^{がざい}画材や^{さんこう}参考^{がそう}画像を使っ ^て描きます。  8</p>
 動画	<p>^{どうが}メイキング^み動画を見たり、 ^{とうこう}投稿したりできます。  9</p>
 Miiverse	<p>^{ミーバース}Miiverseに^{とうこう}投稿された^え絵をま ^{とめて}見ることができます。  10</p>
 作品集	<p>これまでに^か描いた^え絵が^{あつ}集めら れています。  11</p>
 ギャラリー	<p>^え絵を^{てんじ}展示できる^{ばしょ}場所です。  12</p>
 設定	<p>^{がめん}画面の^{ほせい}補正や、^き利き手^てなどの ^{かくしゅ}各種^{せってい}設定ができます。</p>

^{がめん}画面の^{ほせい}補正について

^{つか}お使いのテレビに^あ合わせて、^{ゲームパッド}Wii U GamePadの
^{がめん}画面の^{あか}明るさや^{いろ}色などを^{ほせい}補正できます。^{がめん}画面の
^{あんない}案内に^{したが}従って^{すす}進めてください。

さいせいほうしき
サウンドの再生方式について

このソフトは、サラウンド（リニアPCM）^{たいおう}に対応
しています。サラウンド^{たの}を楽しむ場合は、Wii Uメ
ニューの  ^{ほんたいせってい}（本体設定）で「テレビ」^{えら}を選び、
サウンドの再生方式^{さいせいほうしき}を「サラウンド」にしてくだ
さい。



タッチペンで絵を描いたり、項目を選んだりします。以下の操作はボタンでもできます。

絵を描くときの操作

ツールメニューの表示	(X) / (ZL) / (ZR)
使用中の画材を取り出す	(L) / (R)
元に戻す・やり直す	(B)
グリッドの表示	(Y)
ズームイン・アウト	+ / +
ズームエリアの移動	(L)
テレビの表示切り替え	(A)
オプションの表示	(+)

レッスン中のみできる操作

メッセージ送り	(A)
スキップ	(X) (▶ 表示中)

利き手について

オプション ← 4 など、利き手に合わせたボタン操作に変更できます。

※ 本書では、右利き時の操作を記載しています。



保存する

本ソフトでは、絵とメイキング動画の両方を保存できます。データは、ユーザーごとに保存されます。

※ モードによって、保存の方法が異なります。

レッスン

レッスン中はオプションで途中保存ができます。終了後に保存した絵はフリーペイントのデータとして保存されます。

※ レッソンの進行状況は自動的に保存されます。

フリーペイント、みんなのキャンバス

オプションで、いつでもセーブできます。

動画について

途中保存して続きを描いたときも、描きはじめるかから完成までをつなげた動画になります。

データの場所

レッスンの進行状況などはWii U本体に保存されます。絵と動画は、Wii U本体とSDカードのどちらに保存するか選べます。

※ データを保存するためのSDカードは、別途用意する必要があります。

※ SDカードに保存した動画を、パソコンなどで閲覧することはできません。

※ データはあとで移すことができます。

保存できる枚数は？

絵のサイズ（データの大きさ）は、動画の長さなどによって異なります。データがいっぱいになったときは、新しいSDカードに交換すると保存できます。

JPEG画像として保存


Miiverse **10** や作品集 **11** で絵をJPEG画像にして保存すると、SDカードからパソコンなどに移したり、プリンターで印刷したりできます。

JPEG画像について

- SDカードの「DCIM」フォルダに保存されます。フォルダが存在しない場合、自動で作成されます。
- Miiverseで保存したJPEG画像のサイズは、縦450×横800ピクセルです。
- 作品集で保存したJPEG画像のサイズは、縦1080×横1920ピクセルです。
- JPEGデータは描き直せません。

しょうきよ

消去する

ほん
本ソフトのゲームデータは、Wii U メニューの  (本体
せってい
設定) にかんり
管理) しょうきよ
で消去できます。

ユーザーのセーブ データ

かく
各ユーザーのレッスンの進行状況、
しんこうしょうきよ
レッスン終了後に保存した絵、メ
え
いキング動画です。




共有セーブデータ

きょうゆう
オプションのせってい
ないよう
設定内容です。

※ しょうきよ
データを消去するときは、ないよう
じゅうぶん
内容を十分にご確認
かくにん
ください。
しょうきよ
消去したデータはもと
もと
元に戻せません。



ピンス先生に描きかたや画材の使いかたなどを教わりながら描いていきます。コース→「OK」の順にタッチすると、はじまります。



 基本コース	基本からじっくり学びます。
 応用コース	より高度な技法を学びます。
 画材コース	画材の特徴や使いかたを学びます。

※ 基本・応用コースを進めると、 のレッスンが選べるようになります。

保存したレッスンの続き

レッスンで途中保存した絵があると、続きから再開できます。

レッスン画面

ピンス先生の講義を受けたあと、絵を描いていきます。 をタッチ/ でツールメニューが表示されます。



1 ツールメニュー (上)

オプション	描いたところまで絵を定着したり、消去したりできます。Miiverseへの投稿 11 や保存、終了もできます。
グリッド	ガイドの線を表示します。
ズーム	キャンバスを拡大・縮小します。
テレビの表示	テレビに表示される画像を切り替えます。
用語集	美術に関する用語集を見ます。
元に戻す	1つ前の状況に戻します。

2 ツールメニュー (下)

ステップをやり直す	現在のステップの説明をはじめから聞きます。
パステル	現在使える画材です。
次へ進む	次のステップへ進みます。





パステルや木炭など、すべての画材を使って自由に描きます。いろいろな参考画像を見ながら描くこともできます。



しつないしゃしん
室内写真

花や人物などのモチーフ画像を見ながら描きます。

※ 描くときに  /  を押すと、モチーフ画像の構図などの切り替えができます。



しゃしん
パノラマ写真

あらかじめ用意された風景の中で、写真を撮って描きます。



SDカードの
画像

SDカード内の絵や写真を見ながら描きます。



さんこうがそうつか
参考画像を使
わずに描く

さんこうがそうつか
参考画像を使わず描きはじめます。

しゃしん パノラマ写真

あらかじめ用意された風景は5種類あり、それぞれ360°見渡せます。Wii U GamePadをカメラのように動かして、描きたい場所を写真に撮ります。

※ 撮影後に「OK」をタッチすると、絵を描く画面に進みます。



1 オススメ








タッチすると、おすすめの場所にカメラが移動します。

2 さつえい

シャッターを押します。

撮影するときの操作

カメラを動かす操作は2種類あり、ポーズメニューで切り替えができます。

カメラを動かす	ゲームパッドを傾ける（ジャイロセンサー） /  （スティックで操作）
シャッターを押す	
ズームイン	 ↑
ズームアウト	 ↓
ツールメニューの表示	 / 
グリッドの表示	

SDカードの画像

MiiverseなどでSDカードに保存した絵（JPEG画像）を読み込み、参考画像として見ながら描きます。

しゃしん つか 写真などを使う

デジタルカメラで撮った写真なども、JPEG画像なら参考
画像にできます。

※ パソコンなどで以下の準備をすると、読み込めるようになります。

※ Wii Uでは以下の手順の操作を行うことはできません。

① SDカードをWii U本体に差し込むと、SDカードの
「DCIM」フォルダに「100NIN04」という名前のフォルダが自動作成されます。

② 「100NIN04」フォルダにJPEG画像を入れます。画像
のファイル名は「HNI_XXXX.jpg」に変更します。
XXXXは4桁の数字になります。

がそ 画像のサイズについて

● Miiverseや作品集で保存したJPEG画像は、その
のまま読み込めます。

● 読み込める写真などの画像は、縦120×横160
ピクセル～縦768×横1024ピクセルになります。

● 写真などの推奨サイズは縦768×横1024ピク
セルです。

※ 小さな写真のときも同じ比率にしてください。

※ 画像によっては読み込めない場合があります。

描いた絵のメイキング動画を
見ることができます。動画を
アップロードすることもでき
ます。



動画をアップロード

動画をアップロードします。

再生

動画を見ます。

※ ⊕で設定や投稿もできます。

※「フリーペイント」などをタッチすると、表示される絵が切り替わります。

動画をYouTubeへアップロードする

- ① 動画の長さに応じて、「1分」「2分」「5分」のいずれかを選びます。
- ② 以下の設定をします。



※ インターネット動画サービスの「YouTube」に動画をアップロードするには、Googleアカウントが必要になります。

※「決定」をタッチすると、アップロードされます。

タッチペンの表示

タッチペンの表示の有無です。

画材の表示

画材の説明の有無です。

ズームの枠の表示

ズーム枠の有無です。

BGM

動画に付けるBGMを選びます。



みんながMiiverseに投稿した絵を、まとめて見ることができます。お気に入りの絵を保存して、描くときの参考画像にすることもできます。

Miiverseの投稿作品

新しい絵ほど前に並びます。◀ / ▶ をタッチすると、前後の絵が表示されます。



1 絵

タッチすると、テレビに大きな絵が表示されます。作者名やテキストなども見ることができます。

2 選択中のタグ

3 ミーパーズ えつらん Miiverse閲覧メニュー

タグ	タグ <small>えら</small> を選んで、表示 <small>ひょうじ</small> される絵 <small>え</small> を絞り込 <small>しぼ</small> みます。 みます。
フォロー	<small>ミーパーズ</small> Miiverseでフォローしているユーザーの絵 <small>え</small> だけを表示 <small>ひょうじ</small> します。
更新 <small>こうしん</small>	最新 <small>さいしん</small> のデータ <small>こうしん</small> に更新 <small>こうしん</small> します。
JPEG画像 <small>がぞう</small> として保存 <small>ほそん</small>	SDカードに、絵 <small>え</small> のJPEG画像 <small>がぞう</small> を作成 <small>さくせい</small> します。 ※ 保存 <small>ほそん</small> すると、描く <small>か</small> ときの参考画像 <small>さんこうがぞう</small> にできます。 ← 8

4 ミーパーズ み Miiverseで見る

『じっくり絵心教室』公式コミュニティに進み、選択せんたくしている作品さくひんを見ます。

こうしき 公式コミュニティでできること

みんなの絵えを見ることが出来ます。共感きょうかんボタンを押したりコメントこめんとしたりして、いろいろな交流こうりゅうもできます。



描いた絵を見たり、管理したり
できます。絵の投稿もでき
ます。



しょうきよ 消去	え どうが しょうきよ 絵と動画を消去します。 ※ ギャラリーに展示中の絵もなくなります。
コピー	ほんたい え どうが Wii U本体またはSDカードに、絵と動画を コピーします。
JPEG画像と して保存	え がそう ほんぞん SDカードに、絵をJPEG画像にして保存 します。
だいめい か 題名を変え る	え だいめい へんこう 絵の題名を変更します。
とうこう 投稿する	え とうこう 絵を投稿します。
つづ 続きから	え つづ か 絵の続きを描きます。

がそう ミーバース とうこう 画像をMiiverseに投稿する

① はじめに以下の設定をします。

タグ	かんれん タグ (関連キーワード) <input type="text" value="10"/> を1つだけ選びます。
む か 向きを変える	え む か 絵の向きを変えます。

② 絵につけるテキストを入力します。

③ 「送信する」をタッチすると、投稿されます。



お気に入りの絵を額縁に入れて、あちこちに展示できます。
 (L)で移動、(R)でカメラ（視点）を動かします。

てんじ 展示する

照明が当たっている場所で
 (見る) をタッチ / (A) を押します。



さくひん 作品をかざる

- 展示する絵を選び、「題名を変える」をタッチして
 作品名を入力したあと、「OK」をタッチします。
- 以下の設定をします。




さくひん か 作品を変える	え えら なお 絵を選び直します。
と はず 取り外す	え はず 絵を外します。
ひょうじ きれいに表示	ひょうじ がそう き か テレビに表示される画像を切り替えます。
フレーム	がくぶち えら 額縁を選びます。
む か 向きを変える	え む か 絵の向きを変えます。


- (戻る) をタッチ / (B) で展示されます。

みんなのキャンバス

階段^{かいだん}をおりたところの右奥^{みぎおく}に「みんなのキャンバス」があります。このWii U本体^{ほんたい}のユーザー^{ぜんいん}全員が同じキャンバス^{おな}に描きこめます^か。

ギャラリーオプション

 をタッチ / ⊕ で表示^{ひょうじ}されます。設定^{せってい}をしたり、ギャラリーを出^でたりできます。

※「カメラの上下操作^{じょうげ そうさ}を反転^{はんてん}する」をオンにすると、 (上下) の操作^{じょうげ そうさ}が逆^{ぎやく}になります。



重要

本品は著作権により保護されています。ソフトウェアや説明書の無断複製や無断配布は法律で厳重に禁じられています。違反は罰せられますのでご注意ください。なお、この警告は著作権法上認められている私的使用を目的とする行為を制限するものではありません。

本品は日本仕様のWii U本体でのみ使用可能です。法律で認められている場合を除き、商業的使用は禁止されています。

© 2015 Nintendo

Wii Uのロゴ・Wii Uは任天堂の商標です。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

本製品は Wii U動画共有三ドルウェア を使用しています。

■sbc

This software includes open source software distributed under the terms of the GNU Lesser General Public license 2.1 ("LGPL") and modified version of those (collectively "the OSS"). In compliance with the LGPL, the source code of the OSS is made available via Nintendo official website.

© 2010 Keith Mok <ek9852@gmail.com>

© 2008-2010 Nokia Corporation

© 2004-2010 Marcel Holtmann <marcel@holtmann.org>

© 2004-2005 Henryk Ploetz <henryk@ploetzli.ch>

© 2005-2006 Brad Midgley bmidgley@xmission.com

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

© 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is

modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we

use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without

limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any

other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is

not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with

the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same

work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent

license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of

any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does. >

© <year> <name of author >

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

商品・販売・取り扱いに関する お問い合わせ

お客様ご相談窓口



0570-011-120

IP電話からは 075-662-9611 におかけください。

※ 電話番号はよく確かめて、お間違いのないようにお願いいたします。

※ 攻略情報についてはお答えをしておりません。

電話受付時間 / 月～金 10:00 ～ 18:00
(土、日、祝日、会社設定休日を除く)

修理に関する お問い合わせ・送り先

任天堂サービスセンター



0570-021-010

IP電話からは 0774-28-3133 におかけください。

※ 電話番号はよく確かめて、お間違いのないようにお願いいたします。

電話受付時間 / 10:00 ～ 18:00
(祝日、会社設定休日を除く)

〒611-0042 京都府宇治市小倉町神楽田56番地
任天堂サービスセンター

任天堂株式会社

〒601-8501 京都市南区上鳥羽鉾立町11番地1